



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/47号 2022/4/26

◆タワーをより高く！（1年全学科）

4月14日（木）の新入生研修最終日の午後の時間帯に「ものづくりコンテスト」を初開催しました。

目的は、1. 探究活動を体験してもらうこと、2. チームで協力することの大切さを体験すること、の2つとしました。今回は、限られた材料や時間内でグループで協力して竹ひごタワーの高さを2回の試技で競いました。1回目の作成よりも2回目の作成では1回目の経験を踏まえて、より協力して班で話し合い、工夫を重ねながら取り組むことができました。

生徒からは「高校の探究って何をやるか不安だったけど今回の活動で楽しくできそう」、「グループで協力して話し合うことが大事だ」など、積極的に取り組みたい趣旨の感想が目立ちました。「失敗を恐れずに前向きに挑戦」を合言葉に頑張っ

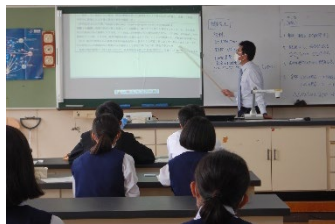


◆SS探究IIA②（数理探究科2年生課題研究）ガイダンスを実施

4月13日（水）初回ガイダンスを実施し、数理探究科2年生27名の課題研究がスタートしました！

まず、川久保教諭の講義では、課題研究を実施する上での心構えを考えました。その中で“質の高い研究とは何か？”について、テーマへの着眼点、論理性などの観点を確認しました。

次に、碓井教諭の講義では、質の高い探究に実際に触れる目的でワークを行いました。東大教育学部附属中等教育学校「ゴキブリは右利きか？」の研究要旨を題材に、各自で読み込んでから、テーマ、目的、実験、結果、考察、結論をワークシートにまとめる中で、質の高い研究にするためにおさえるべきことを確認していきました。



◆「探究」の「探究」に挑戦！（全教員）

4月7日（木）、授業開始期間の前に全教員を対象にSSH職員研修を実施しました。毎年、本校のSSH活動の指導ポイントを共有し確認し合うことを目的に開催しています。今回は生徒の探究活動のファシリテーターとして適切にアドバイスできるように、実際に昨年度の卒業生が2年時と3年時に作成したポスターを使用し、比較をしながらその成長を実感しつつ、「どんな声掛けをすると生徒の探究活動が活性化するか」を教員自ら協力して話し合い「探究」しました。

多くの教員から「探究の声掛けについて情報交換ができて有意義だった」、「異なる専門性や経験から様々な視点での意見が聞けて参考になった」などの感想が得られました。今年度も生徒のSSHの探究活動の活性化の支援に全教員が一丸となって取り組みます。



◆各学年で、SS探究ガイダンス実施。

今年度の本校の課題研究の目標の1つ“質の高い研究を目指す”ための観点を確認することを主として、各学年でガイダンスを実施しました。

これから、質の高い研究を目指して探究を行い、対外的な発表にもどんどん挑戦していこうと、生徒・職員で協力して取り組みます。

◆1年数理探究科「科学基礎」開講

今年度も、本校独自設定科目「科学基礎」がスタートしました。

初回は近藤教諭が担当し、目的は「研究倫理について説明ができるようになる」。

研究倫理に関する映像視聴後、ホームページで「中等教育倫理 基礎編」を読んだ後、理解度を確認するため、「研究倫理チェックシート（小泉治彦 理科課題研究ガイドブックより）」の研究の進め方の20例文をもとに、間違った進め方となる理由と正しい進め方の提示について、4人1グループで意見交換を行いました。



SSH活動の詳細は、下記URL
または2次元コードから
→ <http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html>